

総合評価落札方式を適用した工事における評価の誤りについて

仙台河川国道事務所では、工事発注に際して、施工方法等に関する技術提案を入札時に受け付け、価格以外の要素（技術提案等）と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式を採用しています。

このような中、平成24年3月12日に契約締結した「仙台湾南部海岸二の倉工区第2復旧工事」における価格以外の要素の評価について、6月26日に誤りが判明しました。

価格以外の要素の評価にあたり、入札参加業者のうち1社について「配置予定技術者の能力」の評価を0.5点としていましたが、これは、2.0点の誤りでした。

その結果、落札者を決定する評価値（価格以外の要素を価格で除したもの）も誤った算出となったものです。

なお、正しい評価値に修正を行いました。落札者の変更はありませんでした。

評価の誤りの原因は、誤入力した評価点のチェック漏れです。

このため、他の工事についても再度チェックしましたが、誤りはありませんでした。

入札・契約手続きについては、常日頃から十分に注意を払いながら業務を行っていますが、今後はより一層のチェック体制の充実を図り、再発防止に努めます。

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会＞

（お問い合わせ先）

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

TEL 022-248-4131（代）

事業対策官 フジワラ 藤原 ヒサシ 久 内線208

URL:<http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/index.html>